

明治安田生命 子育てに関するアンケート調査を実施！

子育て世帯の理想の世帯年収は約1,000万円！現実との差は274万円！

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、0歳から6歳までの子どもがいる既婚男女に「子育てに関するアンケート調査」を実施しましたのでご報告します。

1. 子育て費用に関する意識（P4-10）

■子育てをするにあたっての理想の世帯年収は約1,000万円！現実との差は274万円！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が「女性の働き方」について分析！（P4）

■子育て費用不足額は月約2万円！

男性は女性より「教育費」、女性は男性より「娯楽費」が負担と回答

■立ちはだかる「3人目の壁」！超える鍵は「経済的支援」と「イクメンの増加」！？

2. 子育てをとりまく環境（P11-14）

■子育て中の専業主婦の約4割が働きたい！働いていない理由は「保育園がない」が約30%！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が「女性の社会進出」について分析！（P11）

■男性の育児休暇取得日数は理想からほど遠い結果に！

男性の約65%が育児休暇取得日数を「0日」と回答！

3. 子育てにおける男女の価値観（P15-18）

■女性の方が「イクメン」に寛容？「イクメン」のボーダーラインは育児負担割合約20%！

■妻の理想とするイクメンは「主体的な行動」がポイント

4. 子育てにおける悩み（P19）

■女性は男性よりも「精神的な疲労の増加」に、

男性は女性よりも「妻との時間が減ったこと」に対し不満が！

5. イクメンだと思う芸能人ランキング（P20-21）

■理想のイクメン20代から30代の有名人部門 第1位は「杉浦 太陽さん」

■理想のイクメン40代から50代の有名人部門 第1位は「つるの 剛士さん」

番外編 出産後役に立ったグッズ ベスト10（P22）

<対象者の属性>

1. 調査対象

0 歳から 6 歳までの子どもがいる既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2018 年 4 月 12 日(木)～4 月 16 日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,100 人

6. 回答者の内訳

(人)

	夫婦共働き	妻が専業主婦	計
0 歳から 6 歳までの子どもがいる既婚男性	330	220	550
0 歳から 6 歳までの子どもがいる既婚女性	330	220	550
計	660	440	1,100

【目 次】

1. 子育て費用に関する意識

- (1) 年収の理想と現実 4 ページ
- (2) 子育てにかかる費用 6 ページ
- (3) 子どもの人数 9 ページ

2. 子育てをとりまく環境

- (1) 子どもが生まれた後の働き方 11 ページ
- (2) 育児休暇について 13 ページ

3. 子育てにおける男女の価値観

- (1) イクメンの浸透 15 ページ
- (2) イクメンの定義 17 ページ

4. 子育てにおける悩み 19 ページ

5. イクメンだと思う芸能人ランキング

- (1) 理想のイクメン（20代から30代の有名人） 20 ページ
- (2) 理想のイクメン（40代から50代の有名人） 21 ページ

番外編 出産後役に立ったグッズ ベスト10 22 ページ

1. 子育て費用に関する意識

(1) 年収の理想と現実

**子育て世帯の理想の世帯年収は約1, 000万円！
現実とのギャップは274万円！！**

- 子育て中の夫婦に育児をするにあたっての理想の年収について聞いてみました。
- 理想の世帯年収（夫＋妻）は、1, 029万円（759万円＋270万円）となり、現実の世帯年収（夫＋妻）（755万円（606万円＋149万円））との差は274万円となりました。
- 男女別に見ると、男性が回答した自分自身の理想の平均年収は759万円に対し、現実の平均年収606万円（差153万円）、女性が回答した自分自身の理想の平均年収は270万円に対し、現実の平均年収149万円（差121万円）となり、女性よりも男性の方が、自分自身の年収の理想と現実に開きが大きいことがわかりました。
- 2018年の配偶者控除額の改正により、控除の対象となる女性の収入が103万円から150万円に引き上げとなるなど、女性の働き方改革が推進されるなか、いまだ配偶者控除を意識した働き方に留まっている人が多い現状があり、収入の壁が見えた結果となりました。

～チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一



●女性が回答した自分自身の現実の平均年収が149万円にすぎず、理想の平均年収でも270万円にとどまっているのは、多くの子育て期の女性がパートタイマーとして働いている実態を示しています。人手不足を反映し、日本の子育て期の女性の就業率はいまや米国と遜色ないレベルにまで上昇していますが、真の意味での社会進出が進んだとは言えない状況です。待機児童の解消に向けた保育所の整備、夫婦の子育て負担の平準化等、政府にとっても企業にとっても、働き方改革で取り組むべき課題はたくさん残っているといえそうです。

■理想と現実の平均年収差

	世帯		
	世帯 (万円)	夫 (万円)	妻 (万円)
理想	1029	759	270
現実	755	606	149
差（理想－現実）	274	153	121

■個人年収（理想）※男女それぞれが自分自身のことについて回答

	回答者数 (人)	0円 (%)	～100万 円未満 (%)	～200万 円未満 (%)	～300万 円未満 (%)	～400万 円未満 (%)	～500万 円未満 (%)	～600万 円未満 (%)	～700万 円未満 (%)	～800万 円未満 (%)	～900万 円未満 (%)	～1000 万円未満 (%)	1000万 円以上 (%)	平均 (万円)
男性	550	-	0.5	0.5	1.3	4.0	6.4	17.3	16.0	10.7	14.2	3.5	25.6	759
女性	550	11.5	8.5	26.2	13.3	12.7	7.5	12.2	3.3	1.3	1.8	0.4	1.5	270

■個人年収（現実）※男女それぞれが自分自身のことについて回答

	回答者数 (人)	0円 (%)	～100万 円未満 (%)	～200万 円未満 (%)	～300万 円未満 (%)	～400万 円未満 (%)	～500万 円未満 (%)	～600万 円未満 (%)	～700万 円未満 (%)	～800万 円未満 (%)	～900万 円未満 (%)	～1000 万円未満 (%)	1000万 円以上 (%)	平均 (万円)
男性	550	-	0.9	2.4	3.6	11.3	17.1	19.3	12.2	11.6	8.2	4.7	8.7	606
女性	550	40.0	14.9	13.5	9.1	8.5	7.6	2.9	1.8	0.4	0.4	0.2	0.7	149

1. 子育て費用に関する意識

(2) 子育てにかかる費用

子育て費用不足額は月約2.4万円！

男性は女性より「教育費」、女性は男性より「娯楽費」が負担と回答

○子育てにかかる費用（月額）について聞きました。

○平均金額は「39,240円」で、特に女性は親の年齢が高まるほど子育て費用（月額）の平均金額が高くなる傾向がみられました。

○また、子育て費用のうち、負担が大きいと感じるものは、「保育園・幼稚園代」（61.0%）、「習い事やお稽古事の費用」（41.6%）、「食費」（25.8%）の順となりました。

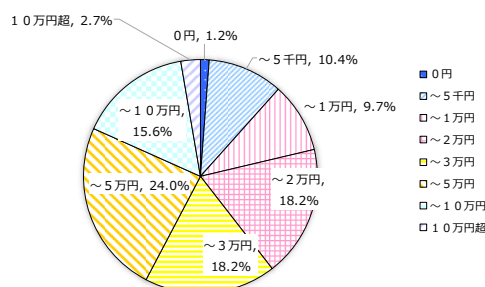
○男女別に見ると、男性は「保育園・幼稚園代」や「習い事やお稽古事の費用」など、毎月の教育費について女性よりも負担に感じている一方で、女性は、男性よりも「レジャー・旅行費用」や「日用品」、「誕生日・クリスマス・お年玉等記念日の費用」などの娯楽費に金銭的負担を感じている傾向がみられました。

○子育て費用が不足していると回答した人の平均不足金額は「23,982円」でした。

○子育て費用を確保するために必要なこととして、「自身の収入」（79.0%）「公的な支給」（67.5%）「計画的な教育資金の積み立て」（65.6%）の順でした。

○また、項目ごとに男女別で見ると、最も差が大きかったのが「配偶者の収入がもっと必要だ」で、男性が45.6%なのに対し、女性は70.9%と25.3Ptもの開きがありました。理想の収入のために夫にもっと稼いでほしいという妻の気持ちのあらわれでしょうか。

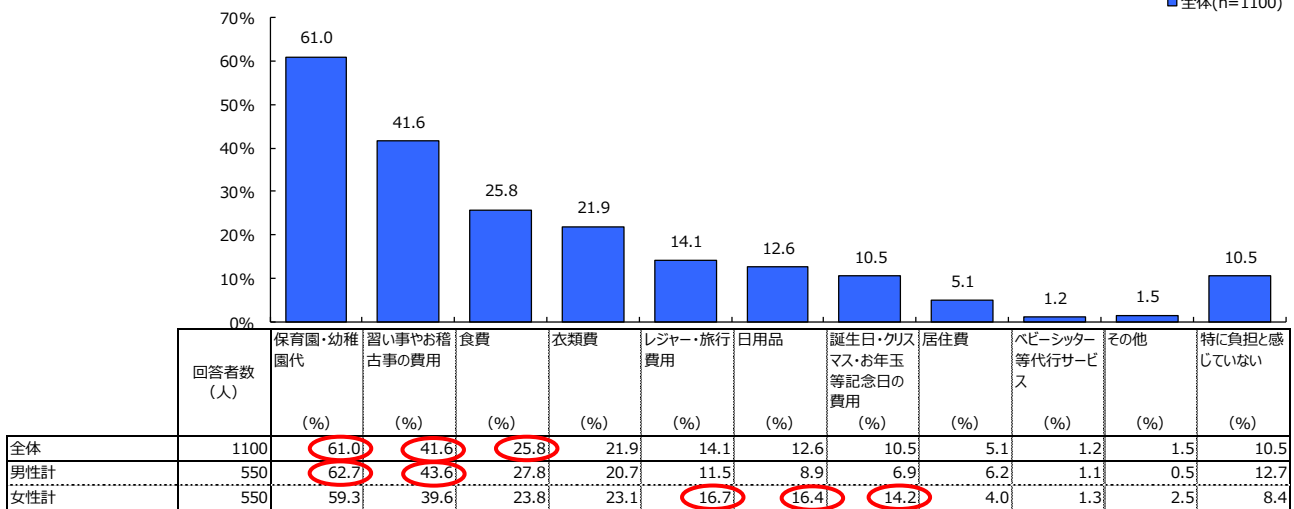
■子育てにかかる費用（月額）



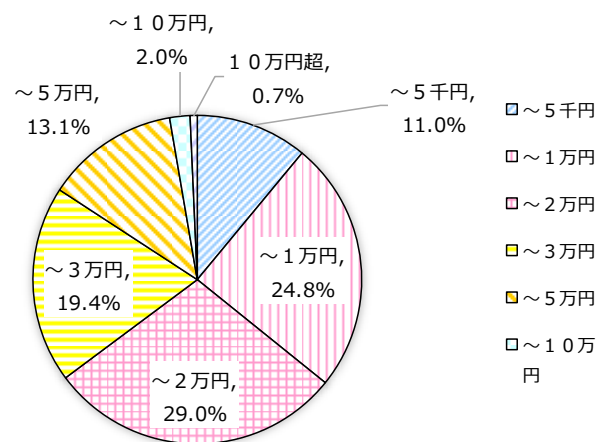
	回答者数 (人)	0円 (%)	～5千円 (%)	～1万円 (%)	～2万円 (%)	～3万円 (%)	～5万円 (%)	～10万円 (%)	10万円超 (%)	回答者数 (人)	平均(円: 0を含まない)
全体	1100	1.2	10.4	9.7	18.2	18.2	24.0	15.6	2.7	1087	39240
男性計	550	1.5	10.5	7.8	16.9	19.5	24.0	15.8	4.0	542	43561
男性20～34歳	65	1.5	10.8	7.7	10.8	18.5	21.5	21.5	7.7	64	55290
男性35～39歳	167	1.8	11.4	11.4	19.2	19.8	20.4	14.4	1.8	164	38172
男性40～44歳	160	-	10.0	7.5	18.8	19.4	27.5	13.1	3.8	160	42132
男性45～59歳	158	2.5	10.1	4.4	15.2	19.6	25.3	17.7	5.1	154	45910
女性計	550	0.9	10.2	11.6	19.5	16.9	24.0	15.5	1.5	545	34942
女性20～34歳	223	1.3	11.2	14.8	20.2	17.9	22.9	11.7	-	220	29714
女性35～39歳	189	1.1	12.7	10.1	19.0	14.3	20.6	20.1	2.1	187	36585
女性40～44歳	115	-	6.1	9.6	14.8	18.3	33.9	14.8	2.6	115	40887
女性45～59歳	23	-	-	4.3	39.1	21.7	13.0	17.4	4.3	23	41870

■子育てにおいて負担が大きいと感じている費用（複数回答）

■全体(n=1100)

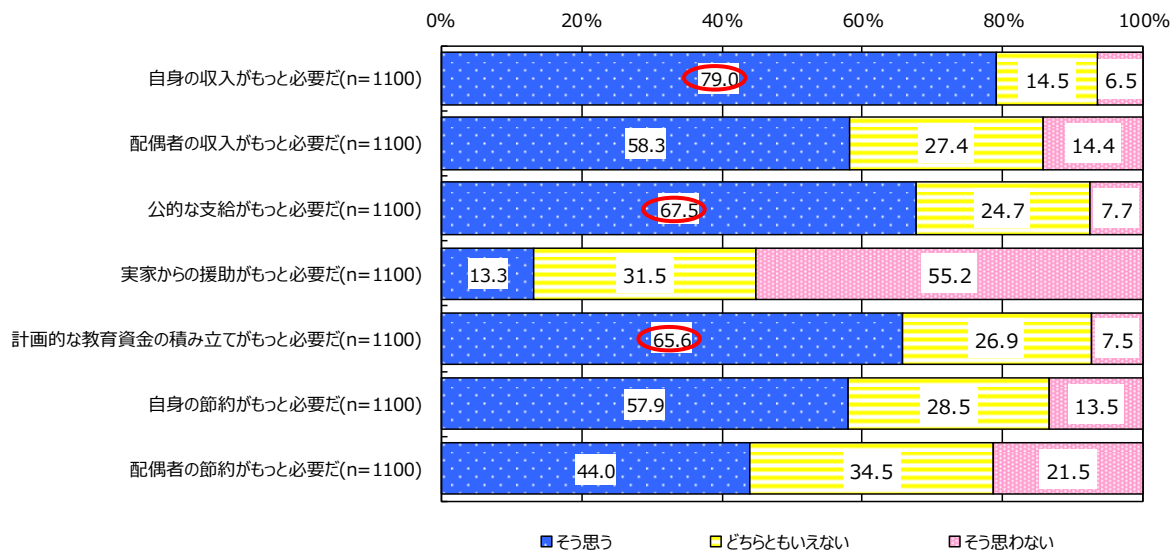


■子育てにおいて足りないと思う金額（月額）

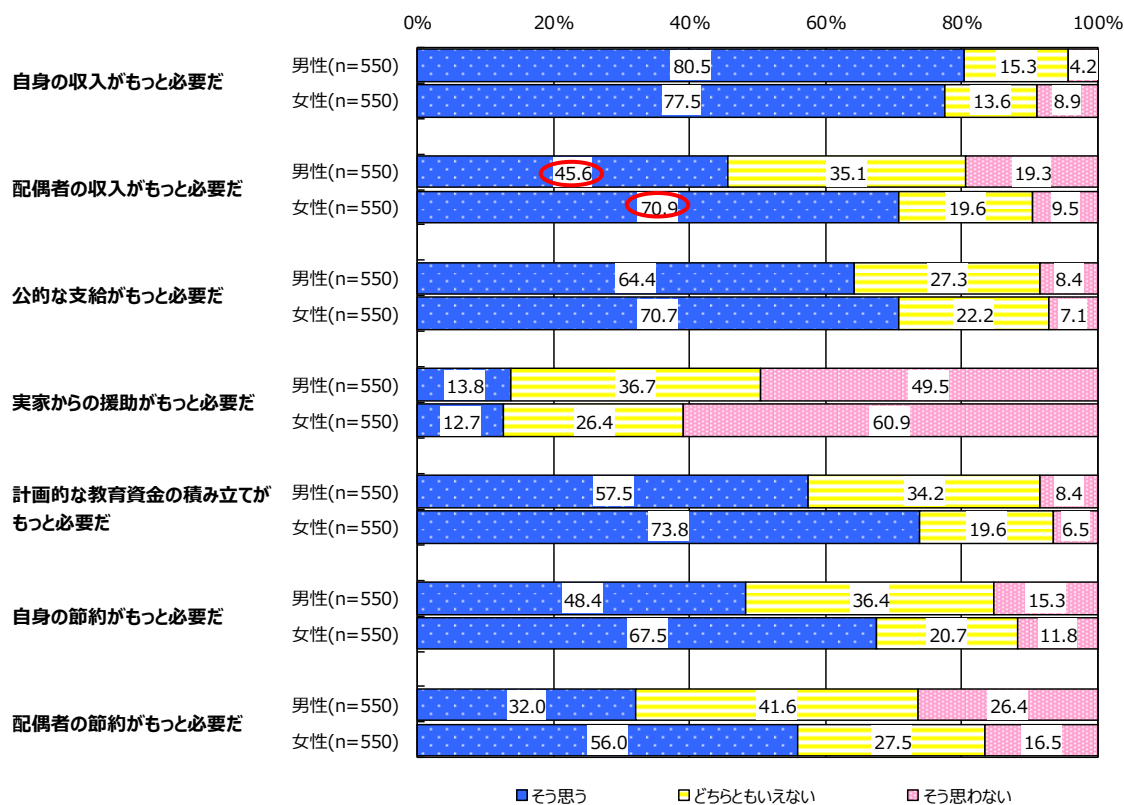


	回答者数 (人)	~5千円 (%)	~1万円 (%)	~2万円 (%)	~3万円 (%)	~5万円 (%)	~10万円 (%)	10万円超 (%)	平均 (円)
全体	762	11.0	24.8	29.0	19.4	13.1	2.0	0.7	23982
男性計	383	8.1	22.5	29.2	21.4	15.7	2.6	0.5	25723
女性計	379	14.0	27.2	28.8	17.4	10.6	1.3	0.8	22222

■子育て費用を確保するのに必要なもの



■子育て費用を確保するのに必要なもの（男女別）



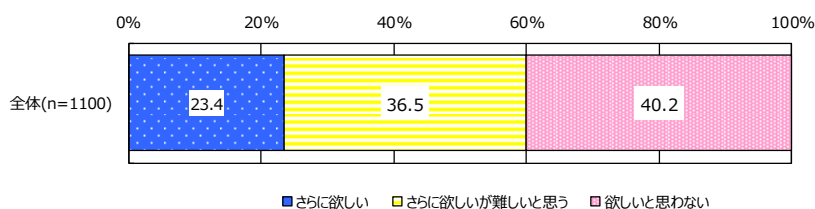
1. 子育て費用に関する意識

(3) 子どもの人数

立ち足はだかる「3人目の壁」！ 越える鍵は「経済的支援」と「イクメンの増加」！？

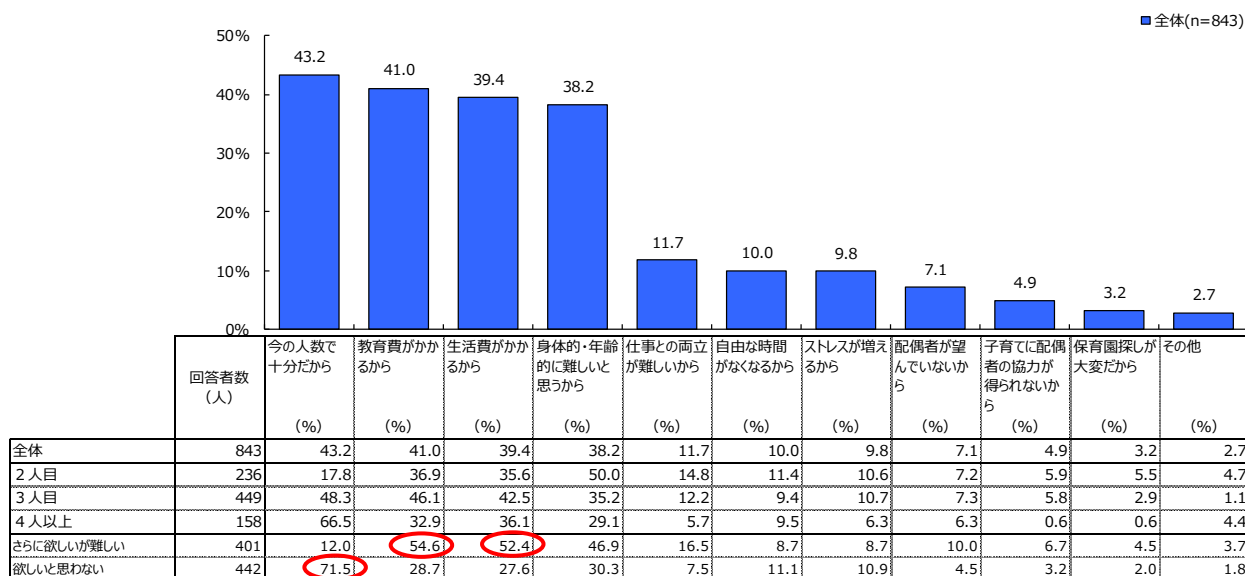
- 厚生労働省が2018年6月に発表した人口動態統計で、1人の女性が生涯に産む子どもの数（合計特殊出生率）が1.43と、2年連続の減少を記録し、少子化が深刻化するなか、子どものいる男女に「さらに子どもが欲しいかどうか」を聞いてみました。
- 全体では、「さらに欲しい」が23.4%、「さらに欲しいが難しいと思う」が36.5%、「欲しいと思わない」が40.2%という結果となりました。
- 2人目を「さらに欲しい」と回答した人が41.7%いる一方、3人目は13.3%、4人目以上では10.7%と、子どもを3人以上持つことへの壁が明確に見えた結果となりました。
- 理由を見ると、子どもを「欲しいと思わない」と回答した人は、「今の人数で十分だから」（71.5%）が最も多く、「欲しいが難しいと思う」と回答した人は、「教育費がかかるから」（54.6%）、「生活費がかかるから」（52.4%）と続きました。さらに子どもが欲しい気持ちはあるけれどあきらめている人が多い背景には、経済的要因があることがわかりました。
- 次に、欲しいと思う子どもの人数と夫のイクメン度の相関をみると、自身または夫をイクメンと評価する人は、イクメンでないと評価する人と比較し、3人目・4人目を欲しいと思う人の割合が高い傾向がみられました。「イクメン」の増加が「3人目の壁」を越える鍵となるかもしれません。

■さらに子どもを欲しいかどうか



		回答者数 (人)	さらに欲しい (%)	さらに欲しいが 難しいと思う (%)	欲しいと思わ ない (%)
【子供人数】 (現在)	全体	1100	23.4	36.5	40.2
	1人	405	41.7	38.3	20.0
	2人	518	13.3	37.8	48.8
	3人以上	177	10.7	28.2	61.0

■難しい、欲しいと思わない理由



■欲しいと思う子どもの人数と夫のイクメン度の相関

	さらに欲しい (%)			さらに欲しいが難しいと思う (%)		
	2人目が欲しい	3人目が欲しい	4人以上欲しい	2人目が欲しい	3人目が欲しい	4人以上欲しい
イクメンと思う計 (イクメンと思う+どちらかというとイクメン)	46.8	16.6	15.4	35.5	34.8	26.4
イクメンと思わない計 (どちらかというとイクメンでない+イクメンと思わない)	35.1	9.2	5.8	42.0	41.7	30.2
差 (イクメンと思う計-イクメンと思わない計)	11.7	7.4	9.6	-6.5	-6.9	-3.8

2. 子育てをとりまく環境

(1) 子どもが生まれた後の働き方

**子育て中の専業主婦の約4割が働きたい！
働きたいのに働いていない理由は「保育園がない」が約30%！**

- 女性が出産や育児によって職を離れ、30代～40代の働く人が減る「M字カーブ現象」が解消されつつあり、働く意欲のある潜在的労働力をいかに活用していくかが議論されるなか、いまだ全国に約2万人いるとされる待機児童問題があります。そこで、専業主婦に子育て期間中の勤労について聞いてみました。
- 専業主婦の40.5%が「働きたい」と回答し、人手不足が深刻な昨今、まだまだ働きたいのに働いていない潜在的労働力の存在があることがわかりました。
- その理由として、約30%の人が「保育園がない」からと回答しており、潜在的労働力の活用には待機児童対策のいっそうの推進が必要不可欠である結果となりました。
- 次に、男性に産後の妻の働き方について聞いてみました。
「仕事より育児を優先すべきだ」と回答した人が39.6%という結果となり、男性は女性に仕事よりも育児に重点をおいてほしいと思っている現状が垣間見えました。
- 一方で、「専業主婦になるべき」と回答した人は16.4%と少なく、「短時間で仕事をして、子どもに割く時間を増やすべきだ」も30.2%という結果となりました。
- 男性は女性に対して、育児を優先してもらいたい一方で、短時間でも働いてほしいという気持ちがあり女性の「働きたい」という気持ちを後押ししてくれる傾向にあるのかもしれない。

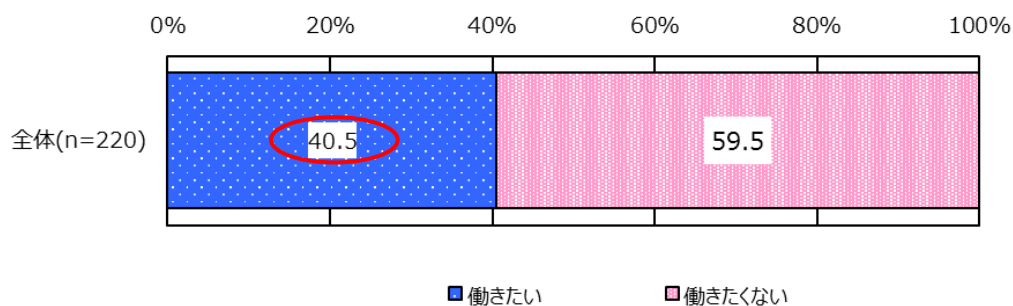
～チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一

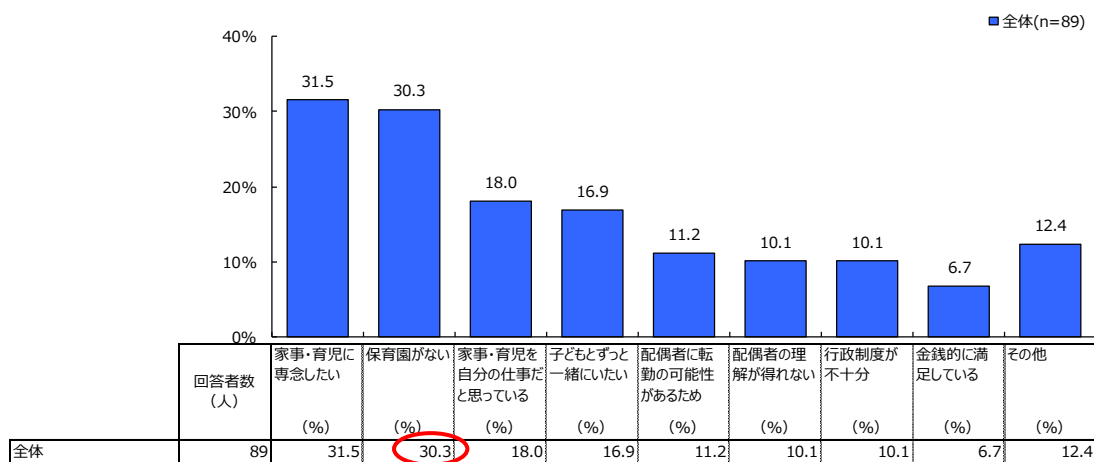


●共働き世帯の急増に伴い、都市部における「待機児童問題」は、解決に向かうどころか、行政の対応が追い付かない状態にあります。保育所の増設に向けた規制緩和の推進、保育士の多数育成など政府の課題は山積みで、企業も事業所内保育所の増設などを検討する余地があります。一方、「転勤の可能性」など、「働けない理由」として挙げられている他の理由からは、年功序列で解雇のリスクも低い代わり、残業や転勤を断れないという、「日本型雇用慣行」がいまだに女性の社会進出を阻んでいる様子も見え隠れします。働き方改革は道半ばです。

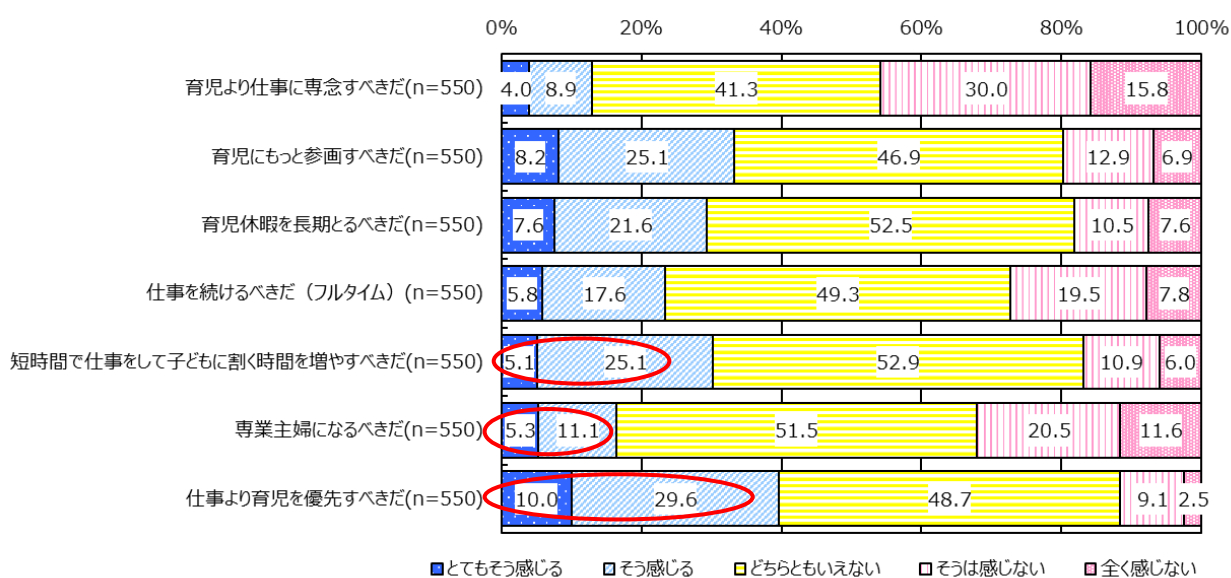
■子育て期間中の勤労（専業主婦回答）



■働きたいのに現在働いていない理由（専業主婦回答）



■子どもが生まれた後の妻の働き方・考え方（男性回答）



2. 子育てをとりまく環境

(2) 育児休暇について

男性の育児休暇取得日数は理想からほど遠い結果に！
男性の約65%が育児休暇取得日数を「0日」と回答！

○共働き世帯の夫婦に育児休暇の取得日数について聞きました。

○育児休暇の取得日数は男性が「0日」（65.1%）が最も多く、平均日数は「7日」でした。女性は「1年以上2年未満」（26.4%）が最も多く、平均日数は「298日」でした。

○夫の理想の育児休暇取得日数は、男女共に「1ヵ月以上3ヵ月未満」が最も多く、妻の理想の育児休暇取得日数は、「1年以上2年未満」が多い結果となりました。

○女性は理想どおりに自分自身の育児休暇日数を取得している人が多い一方で、男性は多くの方が自分自身の育児休暇を取得できておらず、23.6%と約4人に1人が「1ヵ月以上3ヵ月未満」の自分自身の育児休暇取得を希望している現状が見えました。

○男性に対しての育児休暇制度も整っている企業は増えてきていますが、実際活用できている男性は少ない現状にあるようです。

○また、男女両方に仕事と家庭を両立するために必要だと思うことを聞いてみました。

○この結果、「休暇の取りやすい職場の雰囲気」が68.7%、次いで「上司の理解」が38.1%、「時間のコントロールのしやすい職場の制度」が37.1%と続きました。

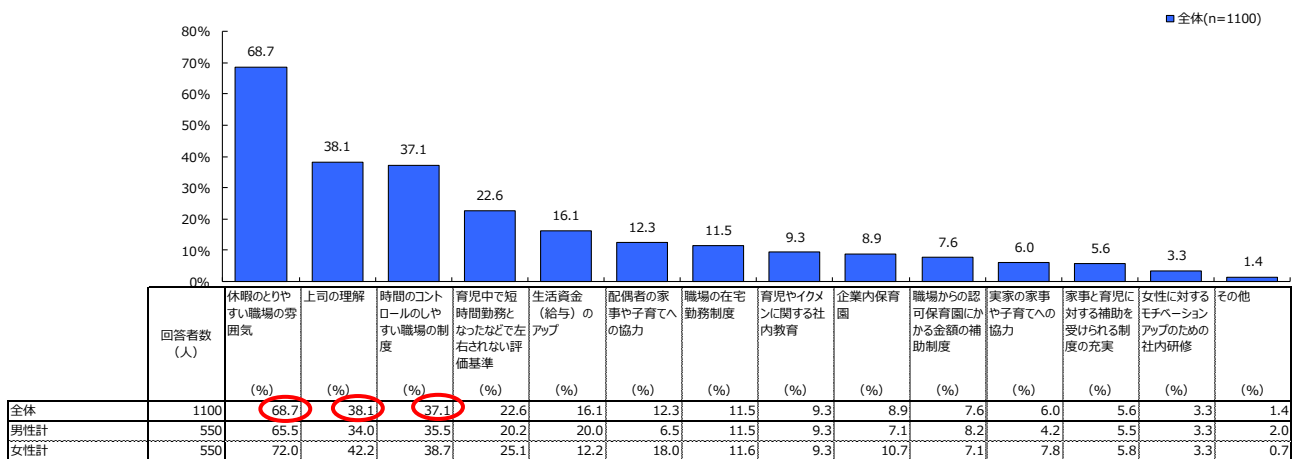
■ 育児休暇取得日数

	回答者数 (人)	取得する必要 がなかった (%)	0日 (%)	1日以上1 週間未満 (%)	1週間以上 2週間未満 (%)	2週間以上 1か月未満 (%)	1か月以上 3か月未満 (%)	3か月以上 半年未満 (%)	半年以上1 年未満 (%)	1年以上2 年未満 (%)	2年以上 (%)	平均取得 日数（日： 0を含む）
男性	550	12.4	65.1	13.6	3.6	1.5	2.4	0.7	0.2	0.5	-	7
うち夫婦共働き世帯	330	12.1	66.4	12.4	3.6	1.2	2.7	0.6	-	0.9	-	8
うち専業主婦世帯	220	12.7	63.2	15.5	3.6	1.8	1.8	0.9	0.5	-	-	5
女性共働き世帯	330	34.8	4.8	1.5	1.2	1.5	3.6	6.1	17.3	26.4	2.7	298

■ 理想の育児休暇日数

	回答者数 (人)	0日 (%)	1日以上1 週間未満 (%)	1週間以上 2週間未満 (%)	2週間以上 1か月未満 (%)	1か月以上 3か月未満 (%)	3か月以上 半年未満 (%)	半年以上1 年未満 (%)	1年以上2 年未満 (%)	2年以上 (%)	平均取得 日数（日： 0を含む）
男性	550	18.2	8.9	15.3	8.7	23.6	9.6	6.5	7.1	2.0	97
うち夫婦共働き世帯	330	19.1	7.3	13.0	8.2	25.8	10.3	7.3	7.0	2.1	104
うち専業主婦世帯	220	16.8	11.4	18.6	9.5	20.5	8.6	5.5	7.3	1.8	85
女性共働き世帯	330	6.4	0.9	1.8	1.5	4.2	7.3	16.1	44.8	17.0	421

■仕事と家庭を両立するために必要だと思うこと（複数回答）



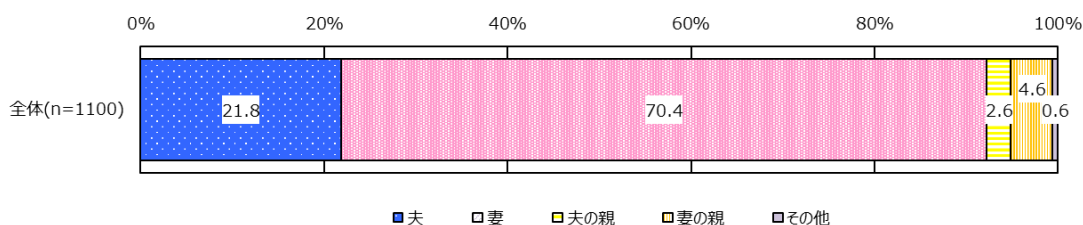
3. 子育てにおける男女の価値観

(1) イクメンの浸透

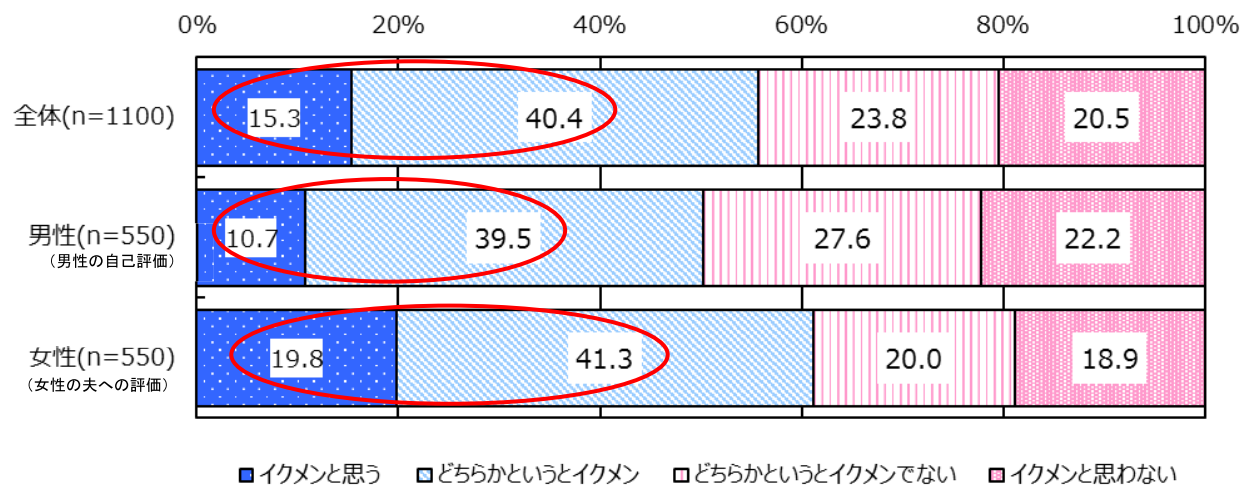
女性の方が「イクメン」に寛容？ イクメンのボーダーラインは育児負担割合 20%！

- 0～6歳の子どもがいる男女に、「イクメンかどうか」（男性の自己評価、女性の夫への評価）を聞いてみました。
- 全体で「イクメン」と回答した人の平均は15.3%、「どちらかというといくメン」と回答した人の平均は40.4%となり、男性の自己評価、女性の夫への評価とも半数以上が「イクメン」・「どちらかというといくメン」と評価されているようです。
- 男女別にみると、男性自身が「イクメン」「どちらかというといくメン」と回答した割合の合計は50.2%。一方、夫が「イクメン」「どちらかというといくメン」と回答した女性の合計は61.1%で、男性の自己評価よりも女性の方が世の中の夫を「イクメン」とであると認定しているようです。
- 次に、育児負担割合について聞くと、「イクメン」と回答した人の育児負担割合は、30.4%、「どちらかというといくメン」と回答した人は24.0%、「どちらかというといくメンでない」と回答した人は18.7%、「イクメンと思わない」と回答した人は14.9%と、育児負担割合が高いほどイクメン度が高いといった相関関係があることがわかりました。
- 女性の回答に限定すると、夫を「イクメン」と回答した人の夫の育児負担割合は28.1%、「どちらかというといくメン」と回答した人は19.3%、「どちらかというといくメンでない」と回答した人は14.2%、「イクメンと思わない」と回答した人は7.2%となりました。女性から「イクメン」と認められるためのボーダーライン（平均値）は、育児負担割合約20%にあると言えます。

■育児負担割合



■イクメン度



■イクメン度と夫婦間における夫の育児負担割合の平均

	妻からみた夫の 育児負担割合 (%)	全体 (%)
イクメンと思う	28.1	30.4
どちらかというイクメン	19.3	24.0
どちらかというイクメンでない	14.2	18.7
イクメンと思う思わない	7.2	14.9

3. 子育てにおける男女の価値観

(2) イクメンの定義

妻の理想とするイクメンは「主体的な行動」がポイント

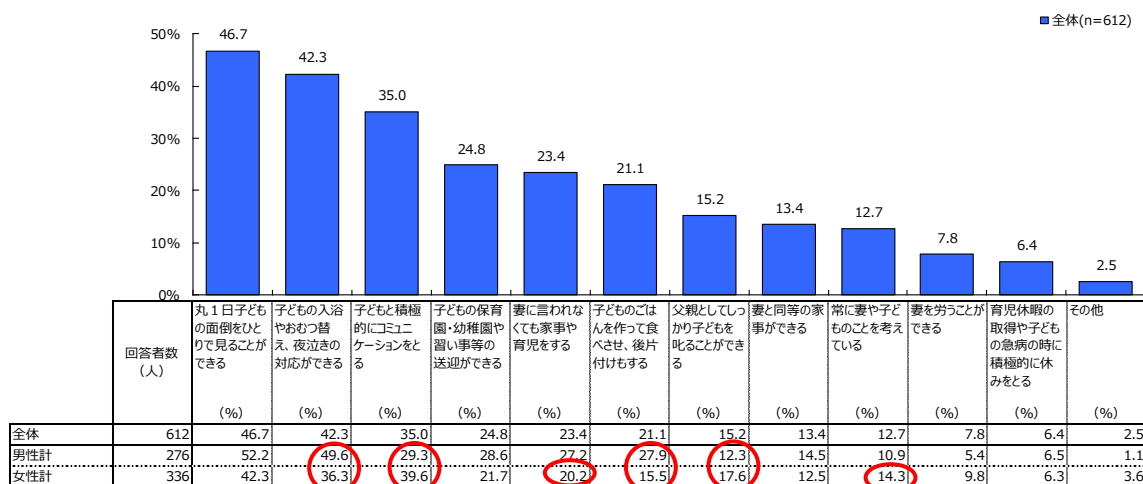
○自身または夫が「イクメンだと思う」と回答した男女に理由を聞いたところ、「丸1日子どもの面倒を見ることができる」が男性52.2%、女性42.3%と、男女ともトップでした。子育てを単なるお手伝いでなく全体でとらえられる男性が「イクメン」と定義づけられるようです。

○しかし、男女別ギャップをみると子育ての価値観で違いがみえます。

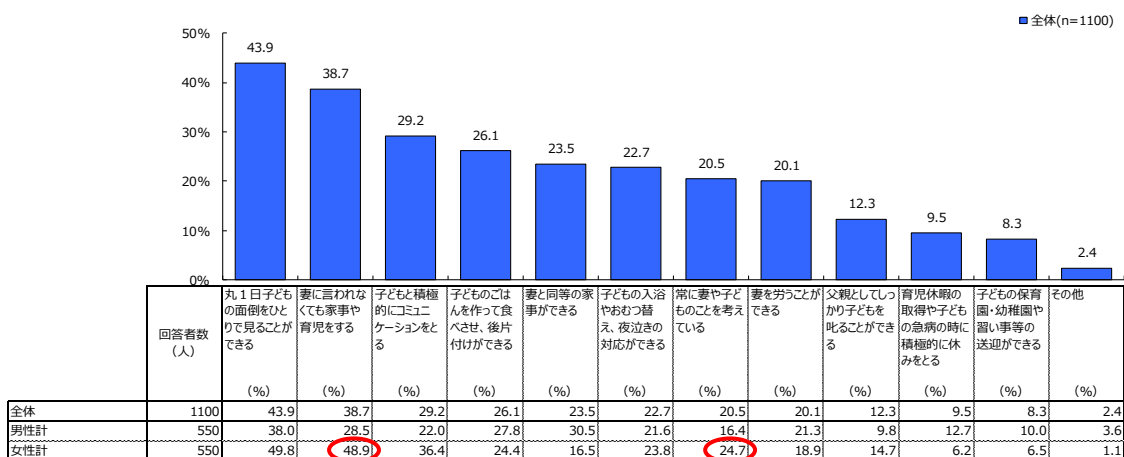
男性は女性よりも「子どもの入浴やおむつ替え、夜泣きの対応ができる」（男性49.6%⇔女性36.3%）や、「子どものごはんを作って食べさせ、後片付けもする」（男性27.9%⇔女性15.5%）と回答した割合が多く、具体的な家事をすることで自身をイクメンと認定する傾向がみられました。一方、女性は男性よりも、「子どもと積極的にコミュニケーションをとる」（女性39.6%⇔男性29.3%）「父親としてしっかり子どもを叱ることができる」（女性17.6%⇔男性12.3%）と回答した割合が多く、父親として子どもと向き合うことを重視する傾向がみられました。

○次に、女性に「理想のイクメン」について聞き現実とのギャップをみると、「妻に言われなくても家事や育児をする」（理想48.9%⇔現実20.2%）「常に妻や子どものことを考えている」（理想24.7%⇔現実14.3%）といった回答でギャップがみられ、妻は夫に育児において、「主体的な行動」を求めているようです。

■自身または夫を「イクメンだと思う」と回答した理由



■理想のイクメン像



4. 子育てにおける悩み

**女性は男性よりも「精神的な疲労の増加」に
男性は女性よりも「妻との時間が減ったこと」に対し不満が！**

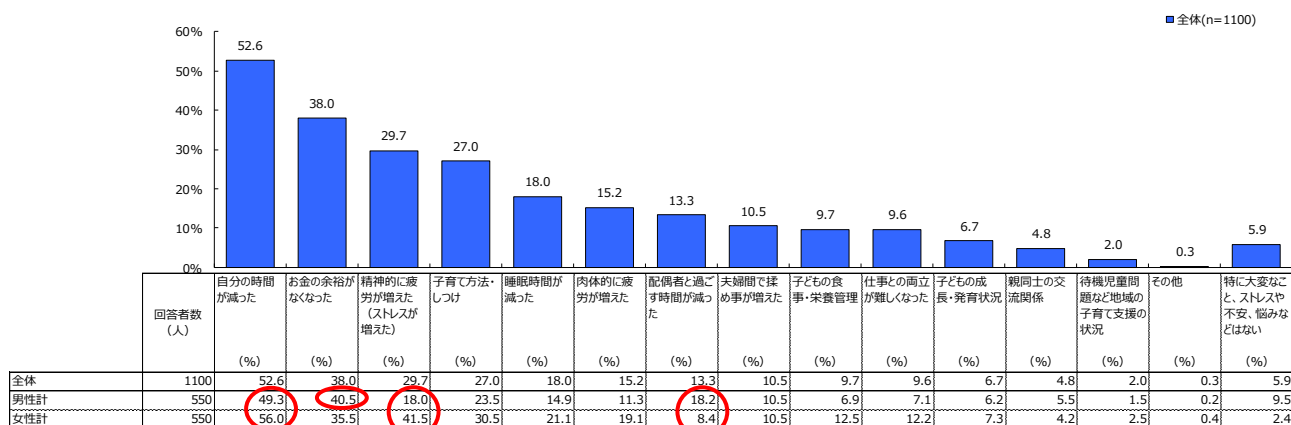
○子育てにおける悩みについて聞いてみました。

○男女とも「自分の時間が減った」（男性49.3％・女性56.0％）がトップ。男性は「お金の余裕がなくなった」が40.5％、女性は「精神的に疲労が増えた（ストレスが増えた）」が41.5％と続く結果となりました。

○男女で比較すると、「精神的に疲労が増えた（ストレスが増えた）」と回答した人は、男性18.0％に対し、女性は41.5％と男女間で大きなギャップがみられました。また、「配偶者と過ごす時間が減った」と回答した人は、男性18.2％に対し、女性8.4％とこちらの回答についても男女間でギャップがありました。

○女性は男性に比べ育児において、自分の時間が減ったこと等から精神的疲労を感じることを大変だと感じるのに対して、男性は女性に比べ、妻との時間が減ったことに対して不満を感じているようです。夫は妻の精神的負担を少しでも軽くするような気遣い、妻は夫の寂しさを少しでも理解することが夫婦円満に子育てをするポイントになるかもしれません。

■子育てで大変なこと



5. イクメンだと思う芸能人ランキング

(1) 理想のイクメン（20代から30代の有名人）

理想のイクメン20代から30代の有名人部門 第1位は「杉浦 太陽さん」

- 20代から30代芸能人を対象に「理想のイクメン」について聞いてみました。
- 第1位は「杉浦 太陽さん」、第2位は「東出 昌大さん」、第3位は「ユージさん」となりました。
- 妻の「辻 希美さん」が第四子を妊娠中の「杉浦 太陽さん」が男女とも圧倒的な支持を集め第1位。
- 第1位「杉浦 太陽さん」の選出理由は「子育てにちゃんと参加していそう」がトップ。次いで「やさしいイメージがあるから」「妻を労ってほしいから」というイメージがありました。
- 第2位の「東出 昌大さん」は「やさしいイメージがあるから」がトップ。第3位の「ユージさん」は「子育てにちゃんと参加してほしいから」がトップでした。

■理想のイクメン（20代から30代の有名人）ベスト5

全体		
1位	杉浦太陽	167人
2位	東出昌大	76人
3位	ユージ	68人
4位	大久保嘉人（プロサッカー選手）	66人
5位	織田信成（スポーツコメンテーター）	65人

男性			女性		
1位	杉浦太陽	72人	1位	杉浦太陽	95人
2位	大久保嘉人（プロサッカー選手）	42人	2位	東出昌大	50人
3位	東出昌大	26人	3位	ユージ	49人
4位	織田信成（スポーツコメンテーター）	25人	4位	水嶋ヒロ	42人
5位	ユージ	19人	5位	織田信成（スポーツコメンテーター）	40人

5. イクメンだと思う芸能人ランキング

(2) 理想のイクメン（４０代から５０代の有名人）

理想のイクメン４０代から５０代の有名人部門 第１位は「つるの 剛士さん」

○４０代から５０代芸能人を対象に「理想のイクメン」について聞いてみました。

○第１位は「つるの 剛士さん」、第２位は「谷原 章介さん」、第３位は「市川 海老蔵さん」となりました。

○子だくさんで、子煩悩なイメージのある「つるの 剛士さん」は男女とも第１位。

○第１位の「つるの 剛士さん」の選出理由は、「子育てにちゃんと参加していそう」がトップ。次いで「仕事と家庭を両立しているイメージがあるから」「子育て経験が豊富そうだから」というイメージがありました。

○第２位の「谷原 章介さん」は「子育てにちゃんと参加していそう」がトップ。第３位の「市川 海老蔵さん」は「頼りになるイメージがあるから」がトップでした。

■理想のイクメン（４０代から５０代の有名人）ベスト５

全体		
1位	つるの剛士	299人
2位	谷原章介	73人
3位	市川海老蔵	58人
4位	はなわ	53人
5位	土田晃之	50人

男性			女性		
1位	つるの剛士	103人	1位	つるの剛士	196人
2位	はなわ	34人	2位	谷原章介	46人
3位	土田晃之	32人	3位	市川海老蔵	36人
4位	佐々木健介（プロレスラー）	28人	4位	藤井隆	28人
5位	谷原章介	27人	5位	藤本敏史（お笑い芸人）	22人

番外編 出産後役に立ったグッズ ベスト10

出産後役に立ったグッズ ベスト10

○出産後役に立ったグッズを聞いてみました。第1位は授乳クッション、第2位は爪きり（赤ちゃん用）、第3位はウエットシートのふた、第4位は鼻吸い取り器、第5位は保湿クリームとなりました。

■出産後役に立ったグッズ ベスト10（複数回答）

1位	授乳クッション	34.0%
2位	爪きり（赤ちゃん用）	29.0%
3位	ウエットシートのふた	19.5%
4位	鼻吸い取り器	19.2%
5位	保湿クリーム	17.6%
6位	おしりふきウォーマー	15.0%
7位	ブランケット	14.7%
8位	授乳記録ノート	13.9%
9位	授乳ケープ	11.9%
9位	搾乳器	11.9%